

第30回岐阜県原爆死没者慰霊祭へのメッセージ

第30回岐阜県原爆死没者慰霊祭にあたり、原爆により尊い命を失われた多くの死没者のみなさまに心から哀悼の意を表します。

私たち「被爆者の願いを継承する岐阜県民の会」（以後、継承する岐阜県民の会）は、岐阜県原爆被爆者の会（以後、岐朋会）の呼びかけにより、「ヒバクシャ国際署名をすすめる岐阜県民の会」を引継ぐ組織として一昨年12月に結成されました。これまで22回の事務局会議と4回の運営会議を開催し活動を進めてきました。岐阜県内にお住いの原爆被爆者の方にお話をお聴きして記録すること、核兵器廃絶に向けた全国運動の岐阜県における受け皿となることを当面の目標にして活動しています。

「被爆の証言」記録は、これまで15回行い、被爆当時から現在に至るまでのお話をお聴きすることができました。昨年より県内で開催される平和の行事で動画の紹介も行っています。また、昨年10月から開始した「すべての国に核兵器禁止条約の批准を求める署名運動」には、この8月までに30,979筆もの署名が寄せられています。

今年で終戦から77年を数えます。2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻は未だ収束の見通しは立たず、あろうことか核兵器による威嚇や、この時とばかり「核抑止」の必要性を唱える動きも高まっています。核兵器廃絶運動はまさに重大な局面を迎えていると強い危機感を感じる昨今です。しかしながら、日本国民の7割は核兵器禁止条約への参加を望んでおり、全世界で大きく動き始めた核兵器廃絶へのうねりを確かなものにしていくために、今こそ私たちはさらに力を集めていくことが必要と考えます。

被爆者の方の声を生で聞ける時間は短くなっており、さまざまな場で被爆者の皆様の思いを受け止め、活動に反映していくことがますます重要になっています。被爆者の方の願いである、若い世代の方にこの運動を継承していくことを目指し、私たち「継承する岐阜県民の会」は、これからも岐朋会の皆様とともに、平和な世界の実現に向けて活動して参ります。

最後に、岐朋会の引き続きの発展と、皆さまのご健勝を祈念し、メッセージといたします。

2022年9月21日 被爆者の願いを継承する岐阜県民の会